

地域住民との連携による農空間保全

うえだい

上代町農地・緑地を守る会（和泉市）

- 以前より年に2回程度、農業者や自治会等との共同活動により水路等の溝浚えや草刈を行ってきたが、近年、施設の老朽化や後継者の減少により、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に、水利組合と実行組合、関係自治会、土地改良区で上代町農地・緑地を守る会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	10.27ha	[田7.49ha	畑2.78ha]	
農業用施設	開水路 4.0km	パイプライン0km	農道 3.5km	ため池 2箇所
主な構成員	実行組合、水利組合、自治会、土地改良区役員			
交付金	280千円（R02）			

活動開始前の状況や課題

- これまで、年2回程度の活動は地域住民と連携して行ってきたが、老朽化した施設の補修等は、農業者のみで行っており、後継者不足による持続的な農地・農業用施設の管理が課題。
- 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。



取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、農業用施設の補修や保守点検を交付金を活用して直営施工により実施し、施設の長寿命化を図っている。
- JAが行う地元小学校（鶴山台北小学校）の農業体験（田植え、稲刈り、収穫米を用いた収穫祭）等に参加し、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



取組の効果

- 直営施工で施設の軽微な補修に取り組むことにより、より効率的に交付金を活用して農業用施設が保全管理されている。
- 鶴山台北小学校5年生約60名の農業体験を地域農家の指導により年間を通じて実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流に寄与している。

